

サーバーレス認証連携キット 取扱説明書

- ・ Microsoft、Active Directory、および Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - ・ その他の社名、または商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

- ・ このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- ・ このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
ApeosWare は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。
本書は、富士ゼロックス株式会社が過去に提供した次のソフトウェアにも適合する説明を含みます。
適合ソフトウェア名：Management Console

本書の使い方

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

本書の表記

- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。



注記

必ず知っておいていただきたい情報、操作するときには必ず確認していただきたい情報を記載しています。



補足

操作の参考になる情報を記載しています。



参照

参照先を記載しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

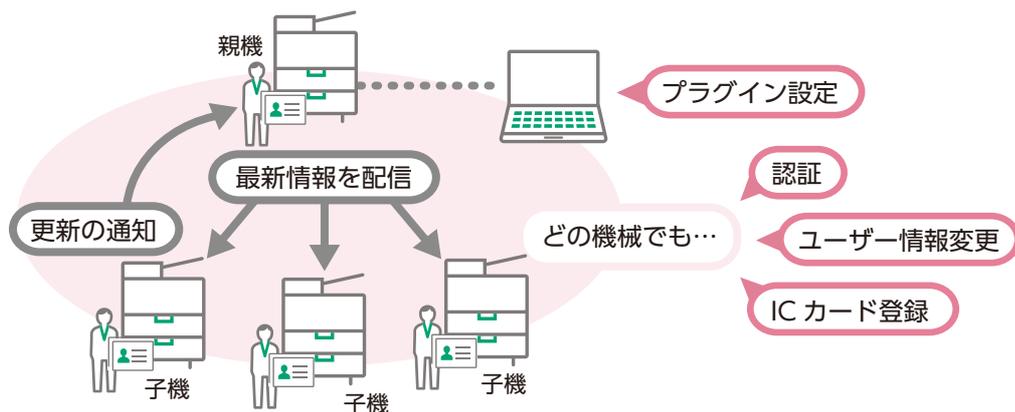
「 」	<ul style="list-style-type: none">・本書内にある参照先を表しています。・機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。
『 』	<ul style="list-style-type: none">・参照するマニュアルを表しています。
[]	<ul style="list-style-type: none">・機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。・コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
{ }	<ul style="list-style-type: none">・操作や動作環境によって変わる値を表しています。 例：[{ログインユーザー名}] が表示されます。
< > ボタン	<ul style="list-style-type: none">・機械の操作パネルのハードウェアボタンを表しています。
< > キー	<ul style="list-style-type: none">・コンピューターのキーボードのキーを表しています。
>	<ul style="list-style-type: none">・操作パネルやコンピューターで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。

1 サーバーレス認証連携キットについて

本キットは、複数の機械でユーザー情報を共有するためのソフトウェアです。

本キットを利用する機械は、「親機」-「子機」の関係を構築します。親機は、親機自身の持つユーザー情報が編集されたとき、および、子機から更新情報を通知されたときに、親機自身のデータベースを更新して、最新情報をすべての子機に配信します。子機はこれを受けて、子機自身のデータベースも最新情報に更新します。

このしくみにより、サーバーレスの環境で、どの機械からでも、認証やユーザー情報の編集、ICカードの登録ができます。



機能の概要

本キットをインストールすると、次の機能を利用できます。

プラグイン設定

機械管理者は、プラグイン設定画面を利用することで、機械情報 / ユーザー情報の一括管理や運用管理の設定ができます。

🔗 参照

- ・詳しくは、「2 プラグイン設定 (管理者向け)」(P.8) を参照してください。

認証機能

本キットは、独自のカスタム認証画面を提供します。ユーザーは、連携するどの複合機からでも、ICカードまたはユーザー ID を利用してログインできます。

🔗 参照

- ・詳しくは、「認証の手順」(P.19) を参照してください。

ユーザー情報変更

ユーザーは、ログイン後に、自分のユーザー名やメールアドレスなどの情報を、機械の操作パネルから簡単に変更することができます。

🔗 参照

- ・詳しくは、「自分のユーザー情報を編集する」(P.20) を参照してください。

IC カード登録

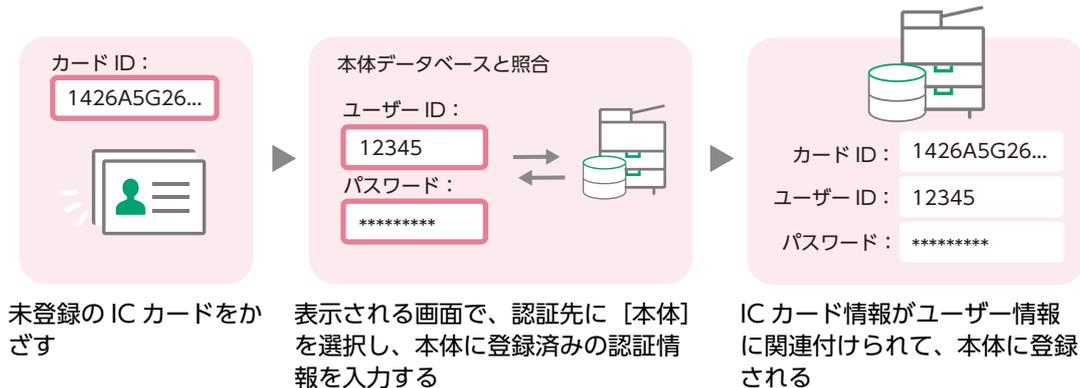
ユーザーは、機械の操作パネルから簡単に、未登録の IC カードとユーザー情報とを関連付けて登録できます。本体管理のユーザー情報だけでなく、Active Directory サーバーの認証情報も利用できます。

6.3 参照

・詳しくは、「IC カードを登録する」(P.21) を参照してください。

本体管理のユーザー情報と IC カード情報を関連付ける

管理者は IC カードを配布するだけでよくなるため、管理者の作業を軽減できます。



Active Directory サーバーの認証情報と IC カード情報を関連付ける

Active Directory の認証情報と IC カード情報との関連付けを機械に保存できます。このため、Active Directory のシステム管理者と、複合機の管理者が異なる場合でも、簡単に IC カードの情報を更新できます。

補足

・ Active Directory サーバーは、外部認証キットを導入した場合だけ利用できます。



本キットを利用するために

本キットを利用するために必要なソフトウェアや、複合機の設定について説明します。

使用するソフトウェア

本キットの設定や、ユーザー情報設定ツールの実行は、PC で実施します。PC の対応 OS、および使用するソフトウェアについて説明します。

- 対応 OS
 - Microsoft Windows 11 (32 ビット)
 - Microsoft Windows 11 (64 ビット)
 - Microsoft Windows 10 (32 ビット)
 - Microsoft Windows 10 (64 ビット)

- Microsoft Excel

機械管理者がユーザー情報を管理するときに、xslm 形式のユーザー情報設定ツールを使用します。

OS と利用できる Microsoft Excel の対応は、次のとおりです。

- Windows 版 Microsoft Excel 2013/2016/2019/2021 (32bit 版 /64bit 版)



注記

- ご利用中の Excel がサポート終了する前に、最新バージョンの Excel へバージョンアップをお願いします。

複合機の仕様設定について

本キットの利用を開始すると、複合機の次の設定が変更されます。運用中は、設定を変更しないでください。

- SOAP ポート
- プロトコル設定
- カスタム認証

IC カード登録を利用するための設定

「IC カード登録」機能を利用する場合は、お使いの複合機を次のように設定してください。



補足

- IC カード登録を利用するには、プラグイン設定画面の [環境設定] で [IC カードの認証と自動的に関連づけ] を有効に設定する必要があります。詳しくは、「IC カード自動登録」(P.13) を参照してください。

IC カードリーダー

IC カードリーダーが設置されていることを確認し、IC カードを読み取りできる状態に設定します。

Active Directory サーバー設定

[IC カード登録] の [認証先] で [Active Directory® サーバー] を選択したときは、Active Directory のアカウント情報を取得します。

次の項目について、操作パネルの [設定] > [ネットワーク設定] > [ディレクトリサービス設定] で設定します。

- [名の属性型]：ユーザー ID に使用されます。
- [メールアドレスの属性型]：メールアドレスに使用されます。

注記

- Active Directory サーバーは、外部認証キットを導入した場合だけ利用できます。
- ユーザー名には、Active Directory サーバーに設定されている「displayName」の値を使用します。[設定] やインターネットサービスでは変更できませんが、IC カード登録で本体に登録したあと、本キットの「ユーザー情報変更」での操作、またはユーザー情報設定ファイルのインポートで変更できます。

参照

- Active Directory サーバーの設定の詳細については、お使いの機械に同梱されているマニュアルを参照してください。

2 プラグイン設定 (管理者向け)

プラグイン設定画面の表示

機械管理者は、インターネットサービスからプラグイン設定画面にアクセスして、本キットを使用するための設定をします。

はじめに、親機、および子機として登録するすべての機械で次の操作をします。

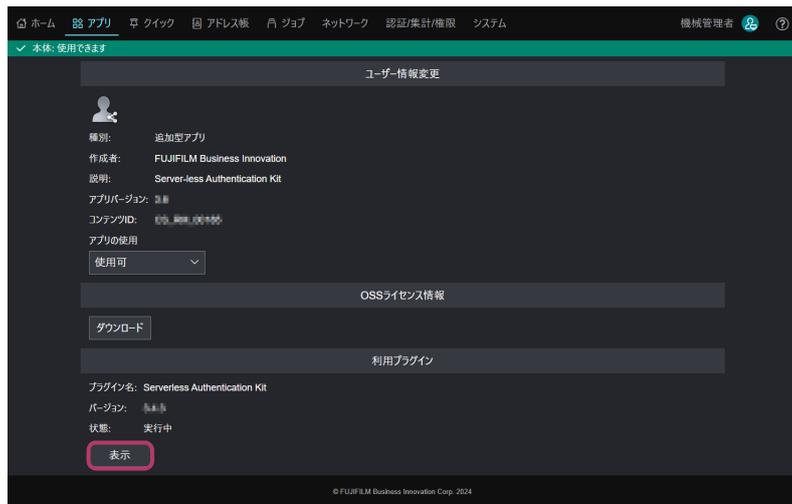
その後、親機とする機器で、「複合機の登録」(P.9)「ユーザー情報の登録」(P.15)、「環境設定」(P.13)を実施してください。

操作手順

- 1 コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス欄に、お使いの複合機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力します。
インターネットサービスが起動します。
- 3 機械管理者モードに入ります。
- 4 [アプリ] をクリックし、[その他のアプリ] で [ユーザー情報変更] を選択します。



5 [利用プラグイン] で [表示] をクリックします。



6 [機械管理者の認証] 画面が表示された場合は、複合機に設定されている機械管理者 ID とパスワードを入力し、[設定] をクリックします。

機械側で、サーバーレス認証連携キットを動作させるために必要な設定が実施されます。

補足

- ・ 設定処理中に機械が複数回再起動されます。再起動ごとに、機械管理者 ID とパスワードを入力する必要があります。

[複合機の登録] 画面が表示されます。

複合機の登録

[複合機の登録] では、本キットを利用している機械の一覧が表示され、機械の登録や削除、権限の変更などの操作ができます。

新規登録

機械を新しく登録する手順を説明します。

注記

- ・ 設定によっては、子機と Active Directory サーバーの間に、パスワード認証のための通信が発生します。
子機として登録する複合機は、LDAP 通信を暗号化するように設定してください。

操作手順

1 [新規登録] をクリックします。

2 [新規登録] 画面で、登録する子機の情報を入力し、[登録] をクリックします。

補足

- ・最初の一台を登録する場合でも、登録の操作をしている機械が親機として登録されるため、ここでは子機にする予定の機械の情報を入力します。
- ・サーバーレス認証キット v2.x の親機にサーバーレス認証キット v3.x の子機を追加したい場合、IP アドレスによる追加ではなく URL による追加を行う必要があります。

参照

- ・[新規登録] 画面の設定項目については、「[新規登録] 画面の設定項目」(P.11) を参照してください。

3 登録が成功して一覧に表示されたら、[権限] を設定します。

補足

- ・登録直後は、自動的に [子機] に設定されます。変更の必要がない場合は、この手順は不要です。

権限

それぞれの機械の権限（役割）を設定します。通信の中心となる 1 台を [親機] に、そのほかの機械を [子機] または [子機 (代行権限あり)] に設定します。子機と子機 (代行権限あり) は、合わせて 49 台まで登録できます。

注記

- ・子機を直接親機に変更することはできないため、親機と子機だけの状態で親機が通信できなくなると、子機の権限を変更できなくなります。このため、最低でも 1 台は子機 (代行権限あり) に設定してください。
- ・親機として利用する機械を変更するには、次に親機にする機械 (権限は [子機 (代行権限あり)]) に設定する) からプラグイン設定画面を開き、自身の権限を [親機] に変更してください。このとき、親機だった機械の権限は自動的に [子機 (代行権限あり)] に変更されます。

親機と子機（子機（代行権限あり）を含む）は、次のように通信を行います。

- (1) 親機でユーザー情報が変更された場合、親機は自分のデータベースを更新後、更新情報をすべての子機に配信します。
- (2) 子機でユーザー情報が変更された場合、更新情報は親機に通知され、親機のデータベースが更新されます。その後、親機はすべての子機に更新情報を配信します。

注記

- ・親機の電源が入っていない場合、変更があった子機自身を含め、すべての機械に変更情報が反映されません。
- ・親機が子機に更新情報を配信するとき、電源が入っていない子機には、変更が反映されません。この場合、(3)の通信のタイミングで変更が反映されます。

- (3) 親機と子機が最後に通信してから一定の時間が経ったとき、または、子機の電源を入れたり、スリープモードを解除したりしたとき、子機は親機に通信して、更新情報がないか問い合わせます。更新情報があれば、親機は、問い合わせに来た子機だけに更新情報を配信します。

- ・子機（代行権限あり）について

子機（代行権限あり）は、(3)の通信で親機が応答できない場合、親機の代わりに子機からの通信を受け、更新情報を配信できます。そのほかの場合は、子機と同様に動作します。

参照

- ・親機と子機が定期的に通信する間隔は、プラグインで設定できます。詳しくは、「自動同期設定」(P.14)を参照してください。

補足

- ・子機からの通信に応答するため、親機と子機（代行権限あり）は、なるべく電源を切らないようにしてください。

4 複数の機械を登録する場合は、手順 1～3 を繰り返します。

5 [新しい設定を適用] をクリックします。

[新規登録] 画面の設定項目

[新規登録] 画面の設定項目は、次のとおりです。

補足

- ・*1: [登録する複合機の情報] で [IPv4 を使用して登録] を選択した場合に設定します。
- ・*2: [登録する複合機の情報] で [URL を使用して登録] を選択した場合に設定します。

登録する複合機の情報

機械を識別するための情報の種類を選択します。

SSL 通信 *1

登録する機械との通信に SSL を使用するかどうかを設定します。

補足

- ・SSL 通信を使用する場合、あらかじめ機械に証明書を設定しておく必要があります。設定の手順については、機械に同梱のマニュアルを参照してください。

注記

- ・サーバーレス認証キットのグループを組んだあとに、SSL 通信の有効または無効の設定を変えないでください。正しく通信できなくなります。変更する場合は、一度対象機をグループから抜き、設定変更後にもう一度グループへ加入させる必要があります。

IP アドレス *1

登録する機械の IP アドレスを入力します。

ポート番号^{*1}

登録する機械との通信に使用するポート番号を入力します。

URL^{*2}

登録する機械の URL を入力します。

補足

- ・ここで入力する URL とは、本キットのプラグイン設定画面にアクセスした直後に、Web ブラウザーのアドレス欄に表示される文字列のことです。ただし、「/admin」以降は削除してください。

機械管理者 ID

登録する機械の機械管理者 ID を入力します。

機械管理者パスワード

登録する機械の機械管理者パスワードを入力します。

登録の削除

登録されている機械をグループから削除する手順を説明します。

注記

- ・グループから削除しても、削除された機械から、共有していたユーザー情報は消去されません。
- ・グループに登録されている機械が親機と子機（または親機と子機（代行権限あり））の 2 台だけの場合、子機（または子機（代行権限あり））を削除すると、親機も削除されます。

操作手順

- 1 削除したい機械の  をクリックします。
- 2 確認画面で [はい] をクリックします。

環境設定

[環境設定] では、本キットの運用に関する設定を行います。

設定後は、画面の下部にある [新しい設定を適用] をクリックして、設定を反映させてください。

IC カード自動登録



IC カードの認証と自動的に関連づけ

未登録の IC カードをかざしたときに、ユーザー情報との関連付けを行うかどうかを設定します。

🔗 参照

- ・詳しくは、「IC カードを登録する」(P.21) を参照してください。

認証設定

[IC カードの認証と自動的に関連づけ] を有効にした場合、運用する認証方式を選択します。

Active Directory のパスワードと同期する

[認証設定] を [Microsoft® Active Directory サーバーを使用する] または [カスタム認証と Microsoft® Active Directory サーバーを使用する] を選択した場合に設定します。

チェックマークを付けると、Active Directory ユーザーが認証するときは、Active Directory サーバーにパスワードを問い合わせます。

この場合、Active Directory ユーザーのパスワードは、複合機械本体には保存されません。

🔔 注記

- ・ Active Directory のパスワードと同期するように設定する場合は、親機、および子機として登録するすべての複合機に本キットのバージョン 1.3.0 以上をインストールしてください。
- ・ Active Directory ユーザーを作成したあとは、この設定を無効にしないでください。

コピーの利用権限、プリントの利用権限、スキャンの利用権限、ファクスの利用権限

[認証設定] で [Microsoft® Active Directory サーバーを利用する] または [カスタム認証と Microsoft® Active Directory サーバーを使用する] を選択した場合、IC カードを登録したユーザーのサービスの利用権限の初期値を設定します。

優先認証先

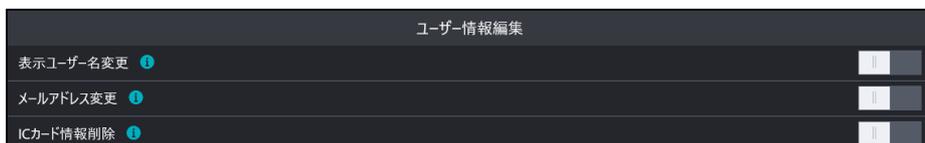
[認証設定] で [カスタム認証と Microsoft® Active Directory サーバーを使用する] を選択した場合、ユーザーが IC カードを登録するときに標準で表示する認証先を選択します。



補足

- ・利用人数が多い認証先を優先認証先に設定することをお勧めします。

ユーザー情報編集



参照

- ・操作パネルでユーザー情報を編集する手順については、「自分のユーザー情報を編集する」(P.20) を参照してください。

表示ユーザー名変更

機械の操作パネルから自分のユーザー名を変更することを、ユーザーに許可するかどうかを設定します。

メールアドレス変更

機械の操作パネルから自分のメールアドレスを変更することを、ユーザーに許可するかどうかを設定します。

IC カード情報削除

機械の操作パネルから自分の IC カード情報を削除することを、ユーザーに許可するかどうかを設定します。

自動同期設定



同期間隔

親機と子機が最後に通信してから一定の時間が経つと、自動的にユーザー情報の同期を行います。この同期間隔を、60 ~ 1440 分の間で設定します。



補足

- ・すでにサーバーレス認証連携キットをインストールしていて、同期間隔を 60 分未満に設定している場合、新しいバージョンを上書きインストールすると、同期間隔は 60 分に変更されます。

ユーザー情報の登録

[ユーザー情報の登録] では、ユーザー情報の一覧ファイルをインポート / エクスポートすることで、大量のユーザー情報を一括で管理できます。

ユーザー情報の編集には、本キット専用の「ユーザー情報設定ツール」を使用します。ユーザー情報設定ツールを利用すると、簡単な操作で、xml 形式のユーザー情報ファイルの読み込み、編集、保存ができます。

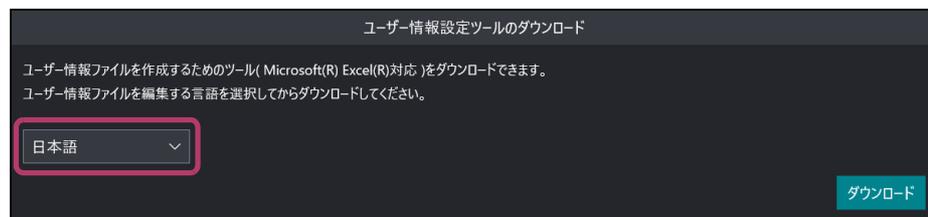
ユーザー情報の一括設定

ユーザー情報を一括で編集 / 登録する手順を、次の流れで説明します。

<Step1> ユーザー情報設定ツールをダウンロードする

操作手順

- 1 [ユーザー情報設定ツールのダウンロード] で、ツールの言語を選択し、[ダウンロード] をクリックします。



- 2 ダウンロードしたユーザー情報設定ツールを、コンピューターの任意の場所に保存します。

補足

- ・ユーザー情報設定ツールは、xlsm 形式です。ほかのファイル形式に変更しないでください。

<Step2> 登録済みのユーザー情報をエクスポートする

補足

- ・ユーザー情報を一件も登録していない場合は、この手順は不要です。また、登録済みの内容を編集する必要がない場合は、この手順を省略しても、[ユーザー情報の追加] から追加情報だけを登録できます。

操作手順

- 1 [ユーザー情報の取得] の [エクスポート] をクリックし、xml 形式のユーザー情報ファイルを、コンピューターの任意の場所に保存します。



<Step3> ユーザー情報を一括編集する

操作手順

1 ユーザー情報設定ツールを、Microsoft Excel で開きます。



・ユーザー情報設定ツールを開く前に、Microsoft Excel のマクロ機能を有効にしてください。

2 [インポート] をクリックし、保存したユーザー情報ファイル (xml 形式) を開きます。



・ユーザー情報を一件も登録していない場合は、この手順は不要です。また、登録済みの内容を編集する必要がない場合は、この手順を省略しても、[ユーザー情報の追加] から追加情報だけを登録できます。

3 ユーザー情報を編集します。



・入力内容が条件を満たさない場合、ダイアログボックスが表示され、問題がある場所と入力内容が通知されます。たとえば、「[F10] user+」と表示された場合、F10 のセルに入力されている「user+」という値に問題があります。このとき、該当のセルは黄色になります。
・登録できるユーザーの数は、31,500 件までです。



・「ユーザー情報設定ツールの入力項目」(P.17)

4 [エクスポート] をクリックして、編集したユーザー情報ファイルをコンピューターの任意の場所に保存します。



・自動的に xml 形式で保存されます。ほかのファイル形式に変更しないでください。
また、メモ帳などでは編集しないでください。

<Step4> ユーザー情報を登録する

操作手順

1 [ユーザー情報の登録] または [ユーザー情報の追加] の [選択] をクリックし、編集したユーザー情報ファイル (xml 形式) を選択します。

The screenshot displays a dark-themed interface for user information management. It is divided into two main sections. The top section, titled 'ユーザー情報の登録' (User Information Registration), contains instructions: '選択したユーザー情報ファイルの内容を新規登録できます。' (You can register the content of the selected user information file as new.) and 'すでに登録されたユーザー情報がある場合は、削除されて上書き登録になります。' (If there is already registered user information, it will be deleted and overwritten.) Below these instructions is a text input field labeled 'ユーザー情報ファイル' (User Information File) with a red-bordered '選択' (Select) button to its right, and a blue 'インポート' (Import) button at the bottom right. The bottom section, titled 'ユーザー情報の追加' (User Information Addition), contains instructions: '選択したユーザー情報ファイルの内容を追加登録できます。' (You can add the content of the selected user information file.) and 'すでに登録されたユーザー情報がある場合は、選択したユーザー情報ファイルの内容から差分のみ登録されます。' (If there is already registered user information, only the differences from the selected user information file will be registered.) and 'すでに登録されているユーザー情報は、そのまま残ります。' (Already registered user information will remain as is.) Below these instructions is another text input field labeled 'ユーザー情報ファイル' (User Information File) with a red-bordered '選択' (Select) button to its right, and a blue 'インポート' (Import) button at the bottom right.

▶ ユーザー情報の登録

ユーザー情報ファイルに記載されている内容で、そのままデータベースを上書きします。削除するデータがある場合、この機能を利用します。

▶ ユーザー情報の追加

ユーザー情報ファイルに記載されていて、自身のデータベースに登録されていない内容のみを登録します。

🔔 注記

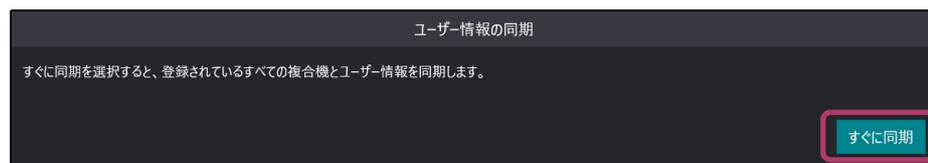
- ・ [ユーザー情報の登録] を利用する場合は、必ず最新のユーザー情報をエクスポートしてから編集し、登録してください。
- ・ 追加情報だけが記載されたファイルを使用する場合、[ユーザー情報の登録] を使って登録すると、既存のデータは削除されてしまいます。この場合、[ユーザー情報の追加] を利用してください。

2 [インポート] をクリックします。

💬 補足

- ・ [インポート] をクリックした時点では、親機だけに内容が登録されます。変更内容をすぐに子機に反映するには、[すぐに同期] ボタンをクリックしてください。[すぐに同期] ボタンについては、[ユーザー情報の同期] (P.17) を参照してください。

ユーザー情報の同期



プラグイン設定画面での変更をすぐに反映させたい場合、[すぐに同期] ボタンをクリックすると、すべての子機へのデータ配信を開始します。

ユーザー情報設定ツールの入力項目

ユーザー情報設定ツールの入力項目は、次のとおりです。

ユーザー ID

ユーザー ID を、半角英数字または記号で、32 文字以内で入力します。この項目は、必ず入力します。

💬 補足

- ・ 「!」、[+]、[;]、[<]、[>]、[?]、[[]、[]]、[']、[{}、{}]、および [}] は使用できません。

カード ID

IC カードの ID を、半角英数字または記号で、32 文字以内で入力します。同じカード ID は重複して登録できません。

💬 補足

- ・ Active Directory ユーザーは、IC カードを使用しない場合も必ずカード ID を登録してください。カード ID を登録していない場合は、パスワード入力でも複合機にログインできません。
- ・ 「!」、[+]、[;]、[<]、[>]、[?]、[[]、[]]、[']、[{}、{}]、および [}] は使用できません。

認証先

Active Directory ユーザーの認証方法を、[複合機本体] または [Microsoft® Active Directory サーバー] のどちらかから選択します。

補足

- ・ [環境設定] の [Microsoft® Active Directory のパスワードと同期する] が無効な場合は、すべてのユーザーで [複合機本体] を選択してください。ユーザー情報ファイルに、[Microsoft® Active Directory サーバー] を選択したユーザーが含まれていると、ユーザー情報を登録できません。
- ・ 1.3.0 より前のバージョンで作成したユーザー情報ファイルをインポートすると、[複合機本体] が選択されます。

パスワード

パスワードを設定する場合は、半角英数字で 4 文字以上 128 文字以内の文字列を入力します。パスワードを設定しない場合は、空白のままにします。

補足

- ・ [インポート] から xml ファイルを開いた場合、パスワードを設定していないユーザーを含め、すべてのユーザーの [パスワード] 列には暗号化された文字列が表示されます。
- ・ Active Directory のパスワードと同期する設定の場合、Active Directory ユーザーはパスワードを設定できません。

ユーザー名

ユーザー名を、半角 32 文字 (全角 10 文字) 以内で入力します。空欄にすると、自動的に [ユーザー ID] と同じ値に設定されます。

メールアドレス

メールアドレスを、半角英数字と記号で 128 文字以内で入力します。

ユーザー権限

ユーザーの権限を、ドロップダウンリストから選択します。[一般ユーザー]、または [機械管理者] から選択します。空欄にすると、自動的に [一般ユーザー] に設定されます。

参照

- ・ 各権限の詳細については、お使いの機械に同梱のマニュアルを参照してください。

コピーの機能制限、プリンターの機能制限、スキャナーの機能制限、ファクスの機能制限

各機能の利用権限を、ドロップダウンリストから選択します。どの項目も、空欄にすると自動的に [制限しない] に設定されます。

補足

- ・ 各機能の利用を制限したい場合は、複合機側もサービスへのアクセスを制御するように設定してください。

動作ログ取得について

[動作ログ取得] 画面は、故障やトラブルが発生したときに、弊社のカスタマーエンジニアが原因を解析するために使用します。通常お客様が使用することはありません。

3 ユーザーの操作（一般ユーザー向け）

ここでは、ユーザーが行う認証の操作や、自分のユーザー情報の編集操作、および IC カードの登録操作について説明します。

認証の手順

本キットをインストールすると、機械の操作パネルにログイン画面が表示されます。この画面から機械にログインする手順を説明します。



補足

- ・ログイン画面が表示されていない場合は、〈認証〉ボタン、またはタッチパネルディスプレイの認証情報の表示エリアを押してください。

IC カードを使用する場合

操作手順

- 1 ユーザー情報が関連づけられている IC カードを IC カードリーダーにかざします。



補足

- ・プラグイン設定画面の [環境設定] で [IC カードの認証と自動的に関連づけ] が有効に設定されている場合、ユーザー情報が関連づけられていない IC カードをかざすと、[IC カード登録] 画面が表示され、ユーザー情報との関連づけができます。詳しくは、「IC カードを登録する」(P.21) を参照してください。

IC カードを使用しない場合

操作手順

- 1 表示されるキーボードを使って、ユーザー ID を入力します。パスワードを設定している場合は、パスワードも入力します。
- 2 [ログイン] を押します。



補足

- ・Active Directory ユーザーは、Active Directory サーバーと通信できない場合や、LDAP 認証機能がない複合機の場合、認証できません。そのような場合は、IC カードを使用して認証してください。

自分のユーザー情報を編集する

ユーザー情報変更を利用して、自分のユーザー情報を編集する手順を説明します。

操作手順

- 1 ユーザー ID とパスワードを入力するか、IC カードをかざしてログインします。
- 2 [ユーザー情報変更] を押します。
- 3 必要な情報を変更します。
- 4 [保存] を押します。



補足

- ・ [ユーザー ID] は変更できません。

ユーザー情報変更

ユーザー名

ユーザー名を変更する場合、新しいユーザー名を入力します。



補足

- ・ 機械管理者によって禁止されている場合は、変更できません。

メールアドレス

メールアドレスを変更する場合、新しいメールアドレスを入力します。



補足

- ・ 機械管理者によって禁止されている場合は、変更できません。

パスワードの変更



補足

- ・ Active Directory のパスワードと同期する設定の場合、Active Directory ユーザーはパスワードを変更できません。

現在のパスワード

パスワードを変更する場合、現在のパスワードを入力します。パスワードを設定していない場合は、空白にします。

新しいパスワード

パスワードを変更する場合、新しく設定するパスワードを入力します。

新しいパスワードの再入力

確認のため、新しいパスワードを再入力します。

カード ID

IC カードが関連付けられている場合、カード ID が表示されます。[関連付けの解除] を押すと、関連付けを解除できます。



補足

- ・ 機械管理者によって禁止されている場合は、解除できません。

IC カードを登録する

「IC カード登録」機能を利用すると、ユーザー自身が個人の IC カードとユーザー情報を簡単に関連付けることができます。

新規登録

Active Directory アカウントを持つユーザーの場合

操作手順

- 1 ユーザー情報が関連付けられていない IC カードを IC カードリーダーにかざします。
- 2 [認証先] に [Microsoft® Active Directory サーバー] を選択し、Active Directory の ID とパスワードを入力して、[登録] を押します。
登録結果が表示されます。

参考

- ・登録時に取得される Active Directory のアカウント情報については、「Active Directory サーバー設定」(P.7) を参照してください。
- ・Active Directory アカウントを持つユーザーのサービスの利用権限の初期値は、プラグイン設定画面で設定できます。詳しくは、「IC カード自動登録」(P.13) を参照してください。

Active Directory アカウントを持たないユーザー（本体ユーザー）の場合

操作手順

- 1 事前にユーザー情報 (ID・パスワード) が登録されていることを、機械管理者に確認します。
- 2 ユーザー情報が関連付けられていない IC カードを IC カードリーダーにかざします。
- 3 [認証先] に [本体] を選択し、機械管理者から通知された ID とパスワードを入力して、[登録] を押します。
登録結果が表示されます。

カードの再登録

カードを再発行した場合など、今まで使用していたカードとは異なるカードを上書き登録したいときの登録方法を説明します。

注記

- ・それまで使用していたカードは無効になります。

操作手順

- 1 新規登録と同じ操作をします。
- 2 [はい (登録する)] を押します。
登録結果が表示されます。

登録情報の削除

機械管理者に、該当ユーザーの情報の削除を依頼してください。

4 エラー対処

本キットをお使いのうえで、トラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

プラグイン設定画面のエラー

メッセージ	対処方法
通信エラーが発生しました。 複合機の電源が入っていないか、ネットワークに接続していない可能性があります。 確認後、もう一度操作してください。	ネットワークの接続を回復、または機械の電源を投入してから、もう一度実行してください。
複合機と接続できません。以下を確認してください。 ・入力した IP アドレスまたは URL ・複合機の電源およびネットワーク接続	入力内容、ネットワーク接続、および機械の電源を確認してから、もう一度実行してください。
以下の複合機の権限は変更できませんでした。 複合機の電源が入っていないか、ネットワークに接続していない可能性があります。	権限を変更する機械のネットワーク接続を回復、または電源を投入してから、もう一度実行してください。
指定されたユーザー情報ファイルは、使用できません。 選択しなおしてください。	インポートするファイルの形式とサイズを確認してから、もう一度実行してください。
通信エラーが発生しました。 以下の複合機は電源が入っていないか、ネットワークに接続していない可能性があります。	表示された機械のネットワーク接続を回復、または電源を投入してから、[すぐに同期] をクリックしてください。
複合機にエラーが発生しています。	エラーが繰り返される場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。

IC カード登録、認証、およびユーザー情報変更のエラー

エラーコード	メッセージ	対処方法
001 004 007 008 009 011 017 035 036 050 054 065 066 067 070 071 076 083 084 085 086 092 093 097	認証できませんでした。 複合機、Microsoft® Active Directory の設定や状態を機械管理者に確認してください。	機械管理者は、次のことを確認してください。 ・複合機側の外部認証システムの設定で、LDAP サーバーが正しく設定されていること。 ・Active Directory サーバーが正しく設定されていること。
002 033 087 089	認証できませんでした。 複合機の設定や状態を機械管理者に確認してください。	機械管理者は、複合機の外部認証システムの設定で、LDAP サーバーが正しく設定されているかどうかを確認してください。
003 012 013 019 051 052 053 080 090 094 095	認証できませんでした。 Microsoft® Active Directory の設定や状態を機械管理者に確認してください。	

エラーコード	メッセージ	対処方法
016 018 032 048 049 150 151	認証できませんでした。 ユーザーID/パスワードの入力内容または Microsoft® Active Directory のパスワード (有効期限、初回ログイン時の設定) を確認してください。 複合機、Microsoft® Active Directory の設定や状態を機械管理者に確認してください。	入力したユーザー ID、およびパスワードを確認してください。 入力した内容に問題がない場合は、機械管理者に次の対処を依頼してください。 ・複合機側の外部認証システムの設定で、LDAP サーバーが正しく設定されていることを確認する。 ・Active Directory サーバーに登録されている有効なユーザーかどうかを確認する。 ・Active Directory のパスワードの有効期限が切れていないことを確認する。 ・Active Directory サーバーで、初回ログイン時にパスワードを変更するよう設定されている場合は、パスワードを変更する。
021 034	認証できませんでした。 ユーザーID/パスワードの入力内容または Microsoft® Active Directory のパスワード (有効期限、初回ログイン時の設定) を確認してください。 複合機の設定や状態を機械管理者に確認してください。	
081 091	認証できませんでした。 複合機、ネットワーク、Microsoft® Active Directory の設定や状態を機械管理者に確認してください。	機械管理者は、次のことを確認してください。 ・複合機側の外部認証システムの設定で、LDAP サーバーが正しく設定されていること。 ・Active Directory サーバーが正しく設定されていること。 ・ネットワークが接続されていること。
201	認証できませんでした。	ID とパスワードを入力し直してください。
250 251	ユーザー登録できませんでした。 ネットワーク環境を確認してください。特にサーバーレス認証連携と対象の複合機の SSL 設定が一致しているかどうかを確認してください。 エラーが繰り返される場合は、機械管理者に連絡してください。	ネットワーク環境と親機の状態を確認し、再度実行してください。
252	ユーザー登録できませんでした。 しばらくしてから、もう一度操作してください。 エラーが繰り返される場合は、カスタマーコンタクトセンターに連絡してください。	エラーが繰り返される場合は、カスタマーコンタクトセンターに連絡してください。
253	IC カードを登録できませんでした。 ユーザーの登録数が上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	機械管理者に連絡して、不要なユーザーを削除してもらってください。
260 261	ユーザー情報を更新できませんでした。 ネットワーク環境を確認してください。特にサーバーレス認証連携と対象の複合機の SSL 設定が一致しているかどうかを確認してください。 エラーが繰り返される場合は、機械管理者に連絡してください。	ネットワーク環境と親機の状態を確認し、再度実行してください。

エラーコード	メッセージ	対処方法
262	ユーザー情報を更新できませんでした。 しばらくしてから、もう一度操作してください。 エラーが繰り返される場合は、カスタマーコンタクトセンターに連絡してください。	エラーが繰り返される場合は、カスタマーコンタクトセンターに連絡してください。
704	複合機の情報を取得できませんでした。 機械を再起動してもなおらない場合は、機械管理者へ連絡してください。	機械管理者は、インターネットサービスを使用して複合機の設定を確認してください。
706	初期設定が完了していないため、この機能を使用できません。 機械管理者に初期設定を依頼してください。	機械管理者に初期設定を依頼してください。
710	Microsoft® Active Directory ユーザーの登録情報が正しくありません。 ICカードを登録してください。	ICカードを登録してください。
750	ICカードが別のユーザーIDで登録済みです。 機械管理者に連絡してください。	機械管理者に連絡して、ICカードの登録を解除してもらってください。
751	・認証時 パスワードが正しくありません。 ・ユーザー情報変更時 [現在のパスワード] が正しくありません。 もう一度 [現在のパスワード] を入力してください。	現在のパスワードを確認し、もう一度実行してください。
752	ICカードを登録できませんでした。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店に連絡してください。
753	認証設定がカスタム認証ではないため、この機能を使用できません。 機械管理者に連絡してください。	機械管理者に連絡して、設定を確認してもらってください。
754	ログインユーザーの情報を取得できませんでした。	ユーザーIDとパスワードが正しいことを確認してください。
755	外部認証機能を利用できない複合機です。	認証方法を、ICカード認証に切り替えてください。
801 802 901	・認証時 認証機能でエラーが発生しました。本体の電源を切/入してください。 再び同じ画面が表示される場合は、機械管理者に連絡してください。 ・ユーザー情報変更時 システムエラーが発生しました。機械を再起動してください。 エラーが繰り返される場合は、機械管理者に連絡してください。	機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
-	パスワードが正しく入力されていません。 次のような理由が考えられます。 ・半角英数 / 記号以外の文字が含まれている ・文字列が短すぎるか長すぎる	[新しいパスワード] の入力内容を確認し、もう一度実行してください。

エラーコード	メッセージ	対処方法
-	メールアドレスの書式が正しくないか、長すぎるため設定できません。	[メールアドレス] の入力内容を確認し、もう一度実行してください。
-	認証できませんでした。	ユーザー ID とパスワードを入力し直し、もう一度実行してください。
-	システムエラーが発生しました。しばらくしてから、もう一度操作してください。エラーが繰り返される場合は、機械管理者に連絡してください。	しばらく待ってから、もう一度実行してください。改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
-	認証できませんでした。しばらくしてから、もう一度操作してください。	しばらく待ってから、もう一度実行してください。改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
-	エラーが発生しました。本体の電源を切 / 入してください。再び同じ画面が表示される場合は、カスタマーコンタクトセンターに連絡してください。	弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。

5 バージョンアップについて

Management Console を使用することで本アプリケーションをバージョンアップ（アップデート）できます。

Management Console の対応機種やダウンロードは弊社公式サイトの商品情報のページをご覧ください。

インストール方法および利用方法は、商品情報ページからダウンロードページへ移動し、「ご利用に際して」ページにある「Management Console readme」をご覧ください。

注記

- ・ Management Console からバージョンアップするためには予め対象の有償商品がインストールされている必要があります。

6 注意 / 制限事項について

本キットの機能を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 次のユーザー ID は、使用できません。
 - 「 」 (半角スペース) だけのユーザー ID
 - 「!」、 「+」、 「:」、 「<」、 「>」、 「?」、 「[」、 「]」、 「{」、 「|」、 「}」 の記号のうちどれかを含むユーザー ID
 - 「」 で始まるユーザー ID
 - 機械管理者 ID と同じユーザー ID
- 本体ユーザーはパスワードを設定しなくても登録できますが、Active Directory ユーザーは必ずパスワードを設定してください。パスワードは、ASCII コードの文字で、4 ~ 128 文字の範囲で設定できます。
- DHCP で自動的に取得した IP アドレスは利用できません。固定 IP アドレスを使用してください。

補足

- DHCP を利用する場合は、常に同じ IP アドレスが割り振られるように設定してください。
- 機種によっては、以前利用していた IC カードをほかのユーザー ID 用に再利用できないことがあります。詳しくは、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
- Active Directory サーバーは、外部認証キットを導入した場合だけ利用できます。
- 本キットと併用できない機能、サービス、関連商品は次のとおりです。
 - 指静脈認証
 - カスタム認証モード以外の運用を前提とする各種サービス
 - Coin Cashier
 - IC Card Cashier
 - 顔認証システム A タイプ
- 本キットを利用する場合、集計管理モードは選択できません。
 - [ネット集計管理] が利用できないため、Account ID 別の集計はできません。
 - [本体集計管理] が利用できないため、ユーザー別集計管理機能のレポート出力はできません。
- 同じユーザー ID で、ほぼ同時に別の IC カードが登録された場合、後から登録された情報が有効になります。
- IC カード登録やユーザー情報変更を利用して変更した情報は、親機のデータベースに登録されたあと、登録を行った子機を含めたすべての子機に、一台ずつ順番に配信されます。このため、接続台数が多くなるほど、すべての子機への配信が完了するまで時間がかかる場合があります。しばらく待っても変更が反映されない場合は、次の操作を実施してください。
 - 親機のプラグイン設定画面の [ユーザー情報の登録] 画面で、[すぐに同期] をクリックする。
 - 上記の操作が有効でない場合、親機のデータベースに変更内容が反映されているか確認する。
- デバイス設定ツールや ApeosWare Management Suite を使用して、ユーザー情報を変更することはできません。

- 1.3.0 より前のバージョンで Active Directory と連携して IC カードを登録していたユーザーを、Active Directory ユーザーに変更する場合は、該当のユーザー情報を削除してから、認証するユーザー情報を [Microsoft® Active Directory サーバー] に設定して、登録し直してください。
- 複合機にセカンダリーイーサネットを装着した構成で「サーバーレス認証連携キット」を運用するときは、次の制限があります。
 - サーバーレス認証連携キットはプライマリネットワークでのみ運用できます。セカンダリーネットワーク側のインターフェースの IP アドレスや FQDN を、親機や子機として設定しないでください。
 - プライマリネットワークを Wi-Fi 接続にしている場合、プライマリネットワークを DHCP 設定にしないでください。手動（固定）で IP アドレスを設定してください。
 - サーバーレス認証連携キットで親子関係を設定したあとに、複合機のプライマリネットワークとセカンダリーネットワークの設定を変更しないでください。
 - サーバーレス認証連携キットの親子関係を FQDN で登録する場合、登録する名前はプライマリネットワークの IP アドレスにだけ応答するように DNS 設定してください。セカンダリーネットワーク側の IP アドレスに応答するように設定しないでください。
 - WUI はプライマリネットワークとセカンダリーネットワークのどちらからでもアクセスできますが、サーバーレス認証連携キットの設定画面ではプライマリネットワークからでしか表示できません。
- サーバーレス認証キット v2.x の親機にサーバーレス認証キット v3.x の子機を追加したい場合、IP アドレスによる追加ではなく URL による追加を行う必要があります。